

第1学年1組音楽科学習指導案

令和5年11月29日（水）第3校時

場 所 芸術棟音楽室

生徒数 36名

指導者 大内 宏 矩

1 題材名 「音色の違いを味わおう」

2 題材について

(1) 生徒の実態

鑑賞分野において、1学期に3大テノール歌手が歌った「'O sole mio」を視聴し、3人の表現の違いを聴き比べる学習を行った。多くの生徒が、3大テノール歌手の特徴について知覚したことを言葉や図形、絵、音楽記号などを用いて表すことができたが、感受したことを言葉にすることに対して苦手意識をもっていると感じた。知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、他者に伝えることができる生徒は少なく、この点が課題である。音楽を形づくっている要素を要として知覚したことと感受したこととの関わりについて考えさせる授業を展開していきたい。

(2) 題材について

本題材は、同一曲を複数の音色で聴き比べ、音色を知覚し、音色の違いによる曲想の違いを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることをねらいとする。本題材で用いる「月の光」は、ドビュッシー作曲のベルガマスク組曲の第3曲である。有名な曲であり、親しみやすい曲である。本時では、音色に焦点を当てるため、ドビュッシーが作曲した「月の光（富田勲編曲）」を使用し、ギターやシンセサイザー等の6種類の音色で演奏したものを比較する。これにより音色の違いを知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりを考え表現できるよう指導する。

本題材では、学習指導要領B鑑賞（1）ア(ウ)、イ(ア)、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素として「音色」を指導するものとする。

3 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 <知識及び技能>
- (2) 音色の違いを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 <思考力、判断力・表現力等>
- (3) 音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 <学びに向かう力、人間性等>

4 教材

- (1) 『ベルガマスク組曲』から「月の光」 作曲者：C.ドビュッシー
- (2) 『ベルガマスク組曲』から「月の光」 作曲者：C.ドビュッシー 編曲者：富田勲
- (3) 「月の光」のギター編曲
- (4) 「月の光」のトランペット編曲

- (5) 「月の光」のソプラノサックス編曲
 (6) 「月の光」のチェロ編曲

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動

指導事項	鑑賞ア（ア）鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 鑑賞イ（ア）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解すること。	
〔共通事項〕	ア	強弱、音色
	イ	pp
主な学習活動	・原曲の「月の光」を鑑賞する。（音色：ピアノ） ・「月の光」に関する知識を得る。 ・編曲された「月の光」を鑑賞する。（音色：シンセサイザーなど） ・様々な音色を知覚し、その音色で得られるイメージを感受し、知覚したことと感受したことの関わりを考える。	

6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	〔知〕曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	〔思〕音色の違いを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	〔態〕音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
1時	〔知〕観察・記述		↓
2時		〔思〕観察・記述	〔態〕観察・記述

7 指導と評価の計画（全2時間）

時	◇ねらい ○学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点
1次	◇ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	
1	○「月の光」の音楽の特徴を聴き取る。 ・ピアノで演奏された「月の光」を聴き、楽曲	○楽曲全体の曲想を感じ取るため、一曲を通して聴く。

	の雰囲気について感じたことを記述する。 ○「月の光」を聴き、曲想と音楽の構造について理解する	○音楽と連動して流れる楽譜を提示する。
2次	◇音色の違いを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。	
2 本 時	○楽器ごとに音色を知覚する。 ○楽器による音色の違いを知覚し、その違いが生み出す曲想の違いを感受する。	○導入で知覚した楽器と関連した楽器で演奏された「月の光」の音源を用意し、楽器の音色を知覚しやすいようにする。

8 本時の学習指導（2／2時）

(1) 本時の目標

- ・楽器による音色の違いを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 ＜思考力、判断力、表現力等＞
- ・音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 ＜学びに向かう力、人間性等＞

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法・手立て）
○楽器ごとに音色を知覚する。 ・本時で取り扱う楽器の音色を知覚し、楽器の音色と楽器の名前を一致させて理解する。	○本時で取り扱う楽器（ピアノ、シンセサイザー、ギター、チェロ、ソプラノサックス、トランペット）の特徴がわかりやすい曲かつ生徒の耳なじみのある曲を選曲し、クイズ形式で知覚させることで、興味・関心を高めさせる。
本時の目標 音色の違いを味わおう	
○楽器による音色の違いを知覚し、その違いが生み出す曲想の違いを感受する。 ・6種類の楽器で演奏された「月の光」を順番に聴き、楽器による音色の違いを知覚するとともに、曲想の違いを感受し言語化する。 ・他者と意見交換をし、他者の意見を踏まえて、再度「月の光」を聴く。	○導入で知覚した楽器と同様の楽器で演奏された「月の光」の音源を用意し、楽器の音色を知覚しやすくする。 ○感受したことを色や擬音語（キラキラ）等を用いて表現できることを伝え、言語化しやすくする。 ○曲名で生徒の想像力を制限しないために、曲名を伝えずに授業を進める。 ○対話的な学習を促すために意見交換する時間を設ける。テンポよく対話できるように短時間の設定とする。 ○意見交換後の他者の感じ方で再度「月の光」を聴く時間を設け、感受した際の語彙力や感性を育めるようにする。

・知覚したことと感受したこと の関わりについて考え、感受 したことを言葉で表現する。 ○学習のまとめと振り返りをす る。 ・複数の「月の光」を聴いて気 付いたことや感じたことを発 表する。 ・本時の振り返りを記入する。 ・〇〇のCMのBGMにどの楽 器で演奏した「月の光」を起用 するか感受したことを基に考 えて記述する。	☆思（記述内容の質、観察） ・音色の違いによる曲想の違いについて根拠をもって 批評、記述することができているかどうか。 ○「音色」について、気付いたことや感じたことを整理 して板書する。 ○「音色」の違いによる曲想の違いについて感じたことを 記入するように促す。 ○学習のまとめで、音楽を日常生活と関連付けるために、 どのような商品のCMの曲に起用するか考えさせる。 ☆態（記述内容の質、観察） ・音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主 体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができ ているかどうか。
---	--

9 ICT活用計画

- ・Google ドライブ…音源を何度でも繰り返し聴けるようにする。
- ・Kahoot!…導入時、楽しい雰囲気の中で知覚させるために使用する。

10 その他

- ・導入時（Kahoot!）の使用曲
 - ①「月の光」（ピアノ）
 - ②「アランフェス協奏曲」（ギター）
 - ③「無伴奏チェロ組曲第1番ト長調」（チェロ）
 - ④「トランペット吹きの日」（トランペット）
 - ⑤「ピンクパンサーのテーマ」（テナーサックス）
 - ⑥「Pretender」（シンセサイザー）